

## 第4回地域新エネルギービジョン策定委員会

日時 平成20年1月22日（火） 14時～16時

場所 松阪市役所 2階 市議会第3・4委員会室

出席者

策定委員会委員 10名

朴恵淑（委員長）、小林文秋、高山和久、田中穰、富田求、西川博明、西村智行、西村勇喜、松本圭史、多賀雄伸（代理）

オブザーバー 1名

経済産業省中部経済産業局資源エネルギー環境部エネルギー対策課 田嶋新エネルギー係長

事務局 4名

樋口環境部長、前川環境課長、三田環境推進担当主幹、若山環境推進係主任

コンサルタント 2名

株式会社ヒラテ技研静岡事業部 青木所長代理、菊池主任研究員



## 議題等

1. 松阪市地域新エネルギービジョン報告書最終内容の確認
2. 松阪市地域新エネルギービジョン概要版最終内容の確認

## 議事の内容

### 1. 松阪市地域新エネルギービジョン報告書最終内容の確認

(事務局説明)

- 委員長 : ありがとうございます。今説明いただいた内容についてご意見等はございますか。
- 委員 : 第3章、P72の新エネルギー導入の可能性のまとめで太陽光は二重丸、太陽熱利用は丸になっていますが、同じ太陽のエネルギーを利用するというのであれば、太陽熱利用も二重丸にすべきだと感じます。
- 委員長 : 委員のご意見は非常に重要な質問であります。確かに、太陽熱利用は非常に有効なエネルギーであることは間違いのないと思います。  
また、私の個人的な意見では天然ガスコージェネもそのように感じてしまいます。事務局としてはいかがでしょう。
- 事務局 : 事務局としましては三重県の新エネルギー施策の方針や、今後市内において導入の見通しが立つものを含め、このような判断をさせていただいております。
- 委員 : P72の新エネルギー導入の可能性のまとめの評価は、行政が主導していくものから評価をしているということであればこの評価でも良いかと思いません。
- 委員長 : 行政の主導ではなく、やはり市民や事業者が動かなくてはいけないと思います。
- 委員 : 概要版を見ますと期待のできる新エネルギーとして、太陽熱も挙がっています。その中でも太陽光、風力、森林資源バイオマスを導入プロジェクトとして進めていくとなっていますから、概要版とこの評価はリンクしていますので間違っていないと思いますが。
- 委員長 : 事務局はいかがですか。
- 事務局 : 事務局としましては、P72の評価からP78の主要導入プロジェクトに進む流れの中で、整合性をとりつつ新エネルギーの取り組み、導入の基本理念、基本方針等を踏まえて太陽光、風力、森林資源バイオマスの3つをお示し

しております。また、先ほど言われましたとおり概要版をごらん頂きますとそのような流れになっており、また、最終面において行政、市民、事業者が共に推進していくとなっておりますので一概に行政の主導というわけではございません。

委員長 : 確かに概要版を見ますとわかりやすく示していますが、行政だけではないということがわかりますし、これは非常に期待できます。

委員 : 太陽熱利用も学校教育などでは非常に有効だと思いますが、行政としては、太陽熱利用には補助金を出すなどして力を入れてはいますか。

事務局 : 太陽熱利用に関しては市としては補助金などは出していません。

委員 : 少し、まとめて話をさせていただくと松阪市において期待できる新エネルギーはいくつかあり、そのなかには太陽熱もあるということです。そして、その中でも太陽光、風力、森林資源バイオマスを導入プロジェクトとして進めていくということですからこれに合致させるにはこの評価でいいと思います。

委員長 : まさしくそのとおりですね。ただ、太陽光と太陽熱を P72 の段階では例えば、「太陽光発電／太陽熱利用」、「太陽光発電・太陽熱利用」としていただければなお良いですね。そして、評価のところを少し工夫していただければと思います。

委員 : 評価のところをアンケート結果や状況など、評価基準ごとに丸やバツをつけることはできないのですか。

事務局 : 前回の委員会で、そのようなご指摘を受けその後こちらで思案致しましたが、アンケート結果などでは定量的な判断が困難でありました。

委員 : 72 ページについて、それぞれのエネルギーごとにまとめとして文章で示されているので、あえて評価をつける必要はなく、いっそのこと評価を外すほうが良いと思います。

委員長 : 委員の意見で評価を外すということによろしいでしょうか。

(異議なし)

委員長 : それでは、事務局さんそのような方向で文章的に補う必要があれば工夫して頂いて、評価を外してください。

委員 : P65 で省エネルギーのことを触れていますがこの文言はこのままでよいのでしょうか。深夜電気温水器などは省エネ機器と言えるのでしょうか。

- 委員 : 深夜電気温水器なども含めエコキュートなどは電気を効率よく使うということで省エネ機器として認められていると思いますので、この記述はよろしいと思います。
- (オブザーバー) : 新エネルギービジョンの報告書(案)7頁で新エネルギービジョンの位置づけとして省エネルギーについても記載しており、この方向性でいいのであれば、このままでよろしいと思います。
- 委員 : こちらのエコウィルはガスコージェネのシステム名ですので電気のほうもエコキュートと書かれたほうが良いと思います。
- 事務局 : エコキュートとさせていただきます。
- 委員 : P64のグラフですが右軸、左軸に分け見やすくしていただくなど、少し精査していただきたいと思います。
- 事務局 : 精査させていただきます。
- 委員長 : P88で松阪市環境パートナーシップ会議とありますが、これは既存のものですか。
- 事務局 : これにつきましては、環境基本計画書の「環境にやさしい取り組み」として市民、市民団体、事業者の方と共に進めていくということで、昨年7月に設立準備会を立ち上げその後組織づくりに向けた会議を5回ほど行いました。そして、来週その松阪市環境パートナーシップ会議について説明と発表を行い、賛同者を募り、来年度設立総会を行う予定となっています。
- 委員長 : ありがとうございます。それでは次の事項に移りたいと思います。事務局お願いいたします。

## 2. 松阪市地域新エネルギービジョン概要版最終内容の確認

(事務局説明)

- 委員長 : ありがとうございます。今説明いただいた内容についてご意見等はございますか。
- 委員 : 表紙の「はじめに」の文中で、「化石燃料の使用により大量のCO2を排出せず」とありますが、少しわかりにくいので精査していただきたいと思います。
- 事務局 : 検討いたします。
- 委員長 : この概要版は、市内の全家庭に配られますか。

事務局 : まず、この新エネルギービジョンについては、4月の広報でビジョン策定について紹介いたします。また、市内の各公民館等や学校へ数に限りはありますができるだけ配布していきたいと考えております。

委員長 : それと、概要版の表紙ですが花の写真が2つありますが、一つを何か市内の太陽光発電など新エネルギーに関する写真を入れていただきたいですね。

事務局 : 新エネルギーに関する写真にさせていただきます。

事務局 : 事務局からなのですが、概要版の期待できる新エネルギーのところには畜産バイオマスについては載せなくてよろしいでしょうか。

(異議なし)

事務局 : それでは、このままで畜産バイオマスについては載せないということをお願いします。

委員長 : 以上で協議事項は終了です。

事務局 : 長時間にわたりありがとうございました。ここで、環境部長よりご挨拶させていただきます。

環境部長 : 委員の皆様、松阪市地域新エネルギービジョンの策定にあたり4回にわたり委員会にてご協議を頂きまして誠にありがとうございました。松阪市と致しまして今後もCO2削減等環境問題について取り組んで参りたいと考えております。誠にありがとうございました。

委員長 : それでは、これをもちまして松阪市地域新エネルギービジョン策定委員会を終了いたします。ありがとうございました。